

No,26

令和6年2月24日発行

# あゆみ



【第1回コンテスト最優秀賞】 写真：山梨県 西湖いやしの里根場  
撮影：藤田 和也



Fuji Architects & Engineers Association

一般社団法人富士建築士会



## 「かいちょうのおしごと～2年をふりかえって」

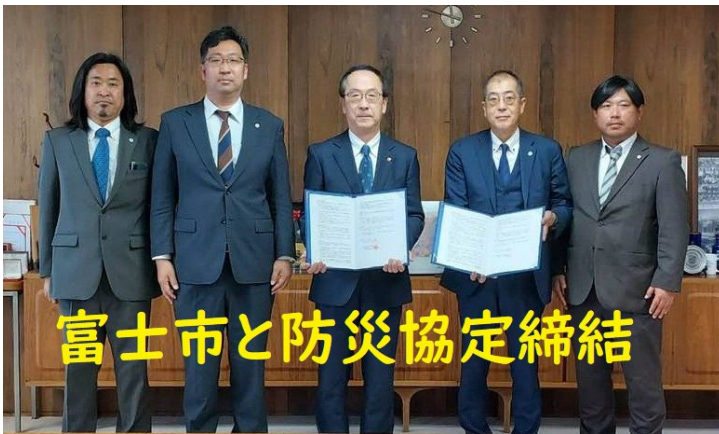


僕が会長に推挙されたのは COVID19 の第6波の真っ最中でした。その年の8月から9月には第7波に見舞われましたが、社会を回さないと日本社会自体が疲弊してしまうというコンセンサスが成立。普通に行事は再開され始めました。でも写真にあるように、キッズジョブ2022の頃はまだ全員がマスクを着用しています。

♪じーしゅく、自粛もほどほどに、

そろそろやめてもいいコロナ♪

…なんて歌ってたら、2022年の暮れからコロナ第8波襲来。しかし、COVID19も普通のウイルスと同じく徐々に弱毒化。致死率 0.1%以下と普通の風邪と大差ないことが知れ渡ると、社会は明るさを取り戻します。



昨年は富士市と「災害時における公共建築物の応急復旧工事の設計業務に関する協定」を締結。



続いて富士宮市と「空き家等の対策の推進に関する協定」を締結しました。



そして 2024 年元旦、能登半島沖を震源とする M7.6 の大きな地震が発生し、常葉大学社会防災センターの小村准教授と現地調査に入りました。この辺の報告はまたいつかしたいと思います。

## 防災について聞く 小村隆史先生インタビュー

令和5年12月末お忙しい中、小村先生と防災危機管理課安藤様、そしてDIGまちづくり委員メンバーとの意見交換会に酒井広報情報委員長、宮島広報情報副委員長でお邪魔させて頂いた際のインタビューです。

元旦の地震の前ではありますが、東海地震、南海トラフ地震の防災について先生の本気度が強く伝わってきました。



災害図上訓練 DIG 考案者 常葉大学 社会環境学部 防災・地域安全コース 小村隆史 准教授

1963年千葉市生まれ。国際基督教大学ICU卒。同大学院修士課程修了。日本で最初の防災学部である富士常葉大学環境防災学部に建学と同時に着任。大学教員としての教育・研究の傍ら、地域防災、防災ボランティア、災害医療、企業防災、国民保護等々、防災・危機管理一般に広く携わる。

DIGとは（Disaster(災害)Imagination(想像力)Game(ゲーム)

頭文字を取って名付けられたもので、参加者が地図を使って防災対策を検討する訓練のこと。総務省消防庁消防大学校、(財)市町村職員中央研修所(市町村アカデミー)などの防災担当職員研修機関や全国各地での講習会のみならず、トヨタ自動車やJICA(国際協力機構)の幾つかのプロジェクトでもDIGの指導を行っている。

### Q. 教授のご経歴と現在大学ではどのような講義をされていますか

A. 私は千葉市の生まれ育ちです。大学院修士課程修了後の平成元年、当時の防衛庁防衛研究所に入り自衛隊の災害派遣について研究することで防災との関わりが始まりました。2000年4月、日本初の防災学部(環境防災学部)を持つ富士常葉大学(富士市大淵)の開学と共に富士市とのご縁が始まり、今に至っています。

2010年4月に環境防災学部は「お取り潰し」、2013年には現在の常葉大学に改組、2018年にはキャンパスも静岡市草薙に移転し、富士市とのご縁が薄くなってしまったことを残念に思っています。大学では住民向け防災ワークショップのノウハウを教える「防災教育実習」や災害時の医療救護活動を支える社会のあり方を考える「災害医療システム」、「現代社会と安全」といった科目を担当しています。

### Q. DIGを考案されるきっかけは何かあったのでしょうか

A. 自衛隊の指揮所での地図の使い方を間近に見たことは、大きかったと思います。地図の上に透明フィルムを被せ、書き込みをしながら議論し共通認識を作る、というのが自衛隊流です。このノウハウが、自治体の防災関係者も含め、一般に知られてはいないということに最初に気付いたのは忘れもしない1993年の北海道南西沖地震がありまして、奥尻島に津波が来て大きな被害が出た時でした。国の災害対策本部では地図を使わず被災地への対応を検討している現実だったのです。

1995年の阪神淡路大震災を経て、1997年3月、三重県の災害ボランティアの仲間の前で、畳2枚大の地図を前に災害対応を議論したのが、DIG誕生の直接のきっかけです。



Q. これまで災害対策上理想の地域に出会ったことはありますか？

A. 理想の地域ですか？それはありません。

というか、地震大国かつ熱帯と虫害以外の災害は何でもありの日本ですから、○か×かで問われたら、日本の中に安全な場所を求めるのは無理だと思っています。ゼロか1かの話ではなく、0%~100%の間で「お財布事情の許す範囲で」「相対的に安全な場所」を選ぶ力と購うことが出来る財力。身も蓋もない言い方になりますが、このことが災害対策の根本にあると思っています。

Q. 印象に残っている地域はありましたか

A. 四半世紀のお付き合いになる富士市にはこだわっています。お話しした通り、日本初の防災学部が出来た街ですし、大学の経営陣は無礼を働いてしまいましたが、富士建築士会や富士市防災危機管理課、富士市社会福祉協議会や災害ボランティア連絡会、地域防災指導員会等々とのお付き合いは、大切にしていきたいと思っています。

あと2月3日に田子浦地区で DIG セミナーを行う予定ですけど、私はあの地域を津波防災のモデル地域にしたいですね。拘りたい地域です。建築士会さんとの DIG セミナーも今回で 7 回目になりますが、続けていきたいと思っています。

Q. 防災・災害対策における建築士の役割をどのようにお考えですか

A. 地震防災の基本は、非常用持ち出し袋でも避難経路でもなく、非常食でも避難所運営でもない、建物の立地と耐震性確保です。一言で言えば「家」です。

風水害対策についても、建築士は地形や地盤についても専門性を持っています。であればこそ、耐震診断や耐震補強も大切ですが、これから家を購入したい世代向けに、「家と土地」の専門家としての建築士によるセミナーは、ぜひぜひ、当たり前にして頂きたい、と思っているのです。

ただ、ある種の方々からは毛嫌いされるかもしれないので、そこは考えどころではありますが…。

Q. 教授は今後の DIG の展開についてどのような構想をお持ちでしょうか

A. こだわりたいのは、人口減少社会の土地利用です。

少なくとも富士市富士宮市であれば、危険な場所に無理をして住む必要は無いですよね？ここ数年、DIG のコピーとして

「地図から災害の物語を読み解き、

地図を前に防災の物語を語り継ぐ」

という一節を使っています。是非、新旧の地形図を見比べつつ「選べるならばどこに住みたいですか？」を問うような DIG を建築士会の皆さんと一緒にやりたいですね。

明治期に川だったところは今も周囲に比べて低いですし、水田だったところは今も液状化リスクがあります。

南海トラフ地震の発生まで残された時間で、自然の摂理にかなった土地利用へと「戻す」ことが出来るかどうか。そのことが、災害に強い富士市富士宮市作りに繋がるでしょうし、そのような目標を掲げつつ DIG のセミナーを続けていきたいと思っています。



以上

# 津波避難ワークショップ<sup>®</sup>・DIGセミナー in 田子浦

まちづくり委員会事業として、令和6年2月3日津波浸水地域の田子浦地区において、富士市・小村先生・富士建築士会による「津波避難ワークショップ・DIGセミナー」を開催いたしました。9:30~15:30 めいっぱい。

地元住民50名の参加で、過去一番多い参加者でした。プログラム前半は、元旦に起きたM7.6能登半島地震の現地視察の報告、後半はDIGセミナー。



## 【早々に現地入りした富士市土地対策課石川主幹より、応急危険度判定の現状】

まず、応急危険度判定が被害認定(罹災証明書)と勘違いしている方が多いことがあげられました。現地の方から「被害認定を受けるために全壊にしてほしい」と言われたそうです。

建物の調査は応急危険度判定と被害認定の調査として2回あるという事。さらに危険という赤紙が貼られても、被害認定は全壊とは限らないという事。

調査をした穴水町で分かったことは沿岸部は被害大、山間部の被害は少なく、新しい家はほとんど被害がないようだった(家の中には入らないので、外から見える範囲)。やはり古い家程壊れているの是一目瞭然。

耐震化率に関して、全国平均85%に対して、穴水町48%輪島市45%珠洲市51%で、石川県は平均で6割近くが耐震化率を満たしていないのが報道で流れたばかりでした。

さらに静岡県平均は89.1%に対して富士市の耐震化率は91.5%(平成30年調査)。とても高い数字であるが、それでも未耐震は8,000戸ある。平成13年(2001年)から始まった耐震化プロジェクト「TOUKAI-0」事業は令和7年度末で終了するため、近々に目標95%の達成を目指している。



## 【鈴木会長による現地視察報告】

1/6.7.8 小村先生と現地入り。被害にあった建物を見て、地震係数の設定の甘さを実感。

石川県の地震係数は0.9である。静岡県は独自に1.3としているが、そもそも地震係数は1950年に導入されたもの。もっと見直すべきでは。

## 【小村先生による現地視察報告】

圧倒的な人手不足を目の当たりにしました。改善すべき点であるが、我が町で起きたら救助はきますか？残念ながら来ません。南海トラフ地震は能登地震とは規模が違います。

揺れのイメージ作りとして、阪神淡路大震災の実際の揺れの映像、そして無耐震住宅の揺れ実験でどのように家がつぶれるのかを映像にて。

さらに液状化のメカニズムの実験映像。被害は大きくなるが、実は液状化は天然の免震構造であり、揺れが水により軽減されているんだという事に住民の方と共に驚きましたが、傾いた建物を持ち上げる費用はとても高価であること。

東海・南海トラフ地震と同じ直下で起きたプレート境界型地震であり、津波の到達が早く、調査の結果、倒壊した建物の中で水死したという「ダブルパンチ」であった。



これらを踏まえて、災害図上訓練DIGセミナーへ  
被害にあったら「あなたならどうする？」

### ☆災害図上訓練DIGセミナー☆

拡大日本地図を広げて、南海トラフ地震の規模を説明。  
能登半島地震の規模ではなく、四国から関東までの  
大災害であることを踏まえて、津波浸水地域になって  
いる田子浦住民の住む地区ごと各区にわかれて 8 名  
ほどのグループで協議します。



その地域の拡大地図を見ながら、地域の  
「被害想定」「強み・弱み」を書きだします。  
◎浸水までの時間 ◎どこに逃げるのか ◎道幅  
◎逃げる際のルートは安全か ◎安全な広場  
◎崖くずれやブロック塀が崩れないか  
◎地震で崩れそうな家はないか ◎防火水槽  
◎火災が予想される場所 ◎コンビニやスーパー  
などを地図に付箋やシールを貼ることで、  
被害にあった際のイメージ作りをします。

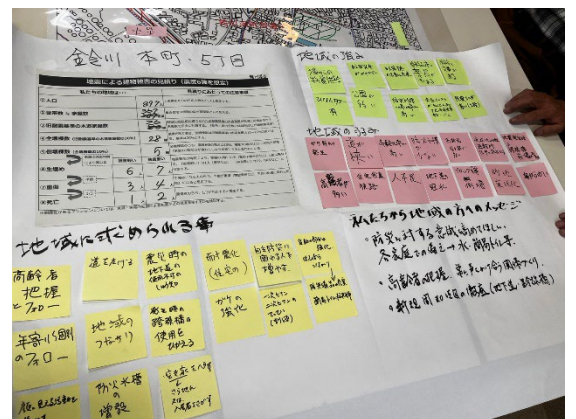
そして、それを基にその地域に求められるもの、なにをすべきかが見えてくるとい訓練です。  
この訓練で気づいた事もあったようで

- 「地下道は浸水して崩れるから使わないように町内に周知しよう」
- 「避難場所に逃げたら陸の孤島になりそうだ」
- 「旭化成の薬品などから火災が発生するかもしれない」
- 「防風林のある高台は安全だから、そこに災害時にも使える公衆トイレを作って欲しい」
- 「災害に対する心構えができた」
- 「高齢者対応について訓練も含めて町内で学習機会を増やしたい」
- 「耐震補強を考えたい」

ただ、お話をうかがっていると、まだ他人事ととらえている方の方が多いように感じました。

- 「火災が起きても、自分の家までは来ないだろう」
- 「逃げれば大丈夫」「津波対策は特に考えていない」
- 「津波は来ないと楽観視している」というご意見も・・・。

気持ちは分かりますが、まずは現実に目を背けない  
ことではないでしょうか。



最後に先生がおっしゃいました。

- 「南海トラフ地震・東海地震は100%来ます。  
残された時間に何が出来るか考えて欲しい。  
防災の基本は備蓄ではなく、建物の耐震です。  
能登地震で建物が崩れて逃げられないまま、津波にのまれて水死した方に思いをはせ、  
ダブルパンチを食らわないようにしてください」

建築士として、安全なまちづくりの為に何が出来るか、本気で考えなければいけませんね。

まちづくり委員会 酒井朋美

# 令和 6 年度 新年 祝 賀 会

令和 6 年 1 月 24 日 ホテルグランド富士において、一般社団法人富士建築士会令和 6 年度新年祝賀会が開催されました。鈴木会長のあいさつでは、1 月 1 日に起きた能登半島地震のお悔みと、祝賀会が開催できることの喜びを話されました。



衆議院静岡 4 区 田中けん様より地震災害対策における国のあり方と、建築士の皆様の必要性の大きさを話されました。



吉永副会長からは、富士建築士会の明るい未来への意気込みと、お願いを持ちまして、閉会の挨拶がありました会員の皆様におかれましては、明るい富士建築士会の未来において熱い語り合いがありました。



今年もよろしくお祈いします。事業委員会の 永田です

大地震で始まってしまいました一月、世の中どうなるか心配ですね。

世界のリーダーも誰になるのか気になります。

建築関係法改正勉強会一月二十三日火曜日 参加者 40 名

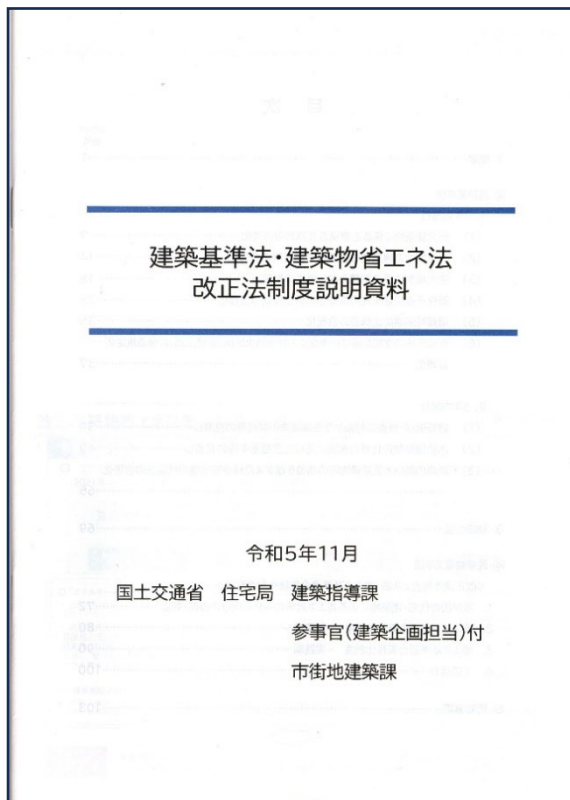
ロゼシアターにて 静岡県建築住宅まちづくりセンターから講師を迎えて

一回目の勉強会を実施しました。

他団体でも行われるみたいですが、何回も聞かないと理解出来なないです。

時間的には余裕があるので、何回か勉強会に参加したいです。

## 国土交通省 配布の白色表紙のテキスト





## R 4 - R 5 年度会員委員会を振り返って！

会員委員会  
委員長 房間 毅

ちょうど 2 年前、会員委員会副委員長だった頃、来年度は委員負担軽減策として事業合理化実験として、会員委員会(納涼会)と青年委員会(キャッチ THE マス)事業を合同開催(隔年)とさせて頂き、合わせて新会員増強目的で未会員勧誘を認めてもらいました。結果、両委員会総括でも十分効果があったとの意見多数であり、この場を借りてご報告とさせていただきます。

### R4 年度

**会員名簿発行** 改正個人情報保護法の施行もあり、会員名簿の発行に加味させて頂きました。

**会員親睦納涼会 (青年委員会合同)**

コロナ感染症の影響もあり 9 月⇒11 月開催(忘年会)となりましたが、無事開催出来ました。

参加者 29 名 賛助会員 5 社 招致人 1 名

**会員研修見学会(名古屋)**

明治村経由の名古屋旅行、会員間の親睦にもなり有意義な時間となりました。

名古屋めし美味かった！



名古屋城



明治村



名古屋めし

### R5 年度

**キャッチ THE マス(青年委員会合同)**

晴天に恵まれて多数の参加者でした。

ご家族での参加の方も多数あり、日頃の感謝も出来たのではないかと思います。

安全第一で無事開催出来ました。参加者大人 30 名 子供 15 名 招致人 1 名

**会員研修見学会(小田原、横浜、鎌倉)**

近場の関東方面！旅行行程もゆったり目に計画しました。2 日間共皆さんよく飲みました。

事故等もなく、無事帰宅で一安心！ 参加者 22 名



キャッチ THE マス



小田原城



中華街



寒川神社

2 年間委員長を務めさせて頂きましたが、担当理事、委員の方々、青年委員の方々の協力あっての事業完了でした。

また、各事業に参加して頂いた方々に感謝申し上げます。

ありがとうございました！

コロナウイルス大流行真っ只中スタートした令和4年からの会員委員会の活動。始まったばかりの春の時には、連日感染者数の報道ばかり見ていました。そんな中で「今年度も建築士会の活動はできるのか」という不安がありました。感染状況を確認しながらの活動でしたが、なんとか無事に研修旅行なども終わることができてほっとしました。



犬山城



犬山城からの景色

研修旅行で行った犬山城です。昔の人たちも同じ景色を見ていたと思うとなんだかタイムスリップしたように感じました。



トヨタ歴代車



会員青年親睦 BBQ

愛知のトヨタ博物館ではトヨタの歴史を見ることができました。会員の親睦を語る親子で参加の BBQ では、富士宮のマス釣りを家族で参加することができ、大変喜んでいただきました。

来年度もより一層会員の親睦を深め、結束力の強い集団にしていけたら幸いです。



私はR3-4年度は、委員として広報情報委員会に所属しており、コロナ禍という事もあり、あまり活動が出来ていない状況でした。

あることから次期 R4-5 年度委員長にならなければいけないことが決まり、委員長という大役が初めてでしたので、何もかも分からない状況で引継ぎ、右往左往しておりましたが、以前広報の委員長をされていた向井理事が広報の担当となって頂いたので、サポートをして頂き心強かったです。



2 年間の活動の一番は毎週水曜日のブログ更新が出来たことです。ホームページのトップページがブログ形式の為、化石化した古いブログが表示されているのは、誰も見てくれないし、検索しても他のホームページに埋もれるだけです。これを委員の持ち回りでほぼ毎週更新が出来ました。これは簡単な事ではありません。委員の皆さんの協力なしでは出来ませんでした。心より感謝しています。なお、ブログをご覧になって頂いた方々にも感謝申し上げます。

次に年 2 回の広報誌「あゆみ」です。紙面をやめ、ホームページへの掲載式になって 4 年目でした。紙面と違い料金的な縛りがないので、ページ数を増やせるのが利点。なのでもっと楽しいものに、見ごたえのある内容にしたいと思い、文字の書体の見直しから、イラストの挿入、自己紹介や特集ページを新たに作ってみました。

特に「あゆみ 25 号」では富士建築士会初めての写真コンテストを開催。「夏と建物」と題して17組の掲載をさせて頂き、WEB上での投票ページを作りました。私のような素人が投票ページをWEBにするわけですからかなり苦戦しましたが、なんとか自力で作れた時の達成感や…(泣)。

そして、この 26 号巻頭の特集ページは防災のスペシャリスト小村先生のインタビュー。インタビュー時は能登半島地震の前でしたが、先生はとても危機感を感じていると仰っていました。

今回のあゆみはいかがでしたか？

私の広報情報委員会の活動は会員、そして一般の方に広く富士建築士会の活動を知って頂くことで、会員増強、ひいては会員の皆様のお仕事に繋がることを目的にしてきました。たった 2 年でそれが達成できたとは申しませんが、会員の皆様が少しでも楽しんであゆみやブログをご覧になって頂けていたなら幸いです。

次年度は委員ではありませんが、一会員として楽しみにしています。

私にとっての広報委員会とは・・

今まで全く携わった事のないジャンルでしかありませんでした。

なにせ私はかなりのアナログ人間ですので、難しい編集なんかとんでもない事でした。

スマートフォンで多少の SNS で発信する程度でしたので。

『とりあえず委員会に行ってみるかー』位でスタートしたのをなんとなく覚えています。

まず、未だに？ですが、ブログの更新がなかなか慣れずに投稿する順番が来るごとに

『これで良かったのかなあ～？』とか、『誰が投稿したか判らない』などの指摘も時々・・

ブログ投稿は広報委員が終わるころようやく慣れてきたのかな？

そんな中でも、嬉しいこともありました。

あゆみの表紙などで私が出張先などで撮影した写真が、結構採用していただいたのは嬉しかったです。また出張がありましたら、写真を撮っていただけたらと思います。

また今年度開催しましたフォトコンテストは公募という形でそれなりの応募があったのは良かったのではないのでしょうか。この先またやるのであれば、多少の景品、賞状の有無など検討材料はありますが、また次回があればしっかり応募しようと思います。

最後にあまり戦力にはならなかった様に思えますが、広報委員会が想像以上に役割のある委員会である事も実感することができました。





# 写真コンテスト結果発表

あゆみ 25 号の特集ページで写真コンテストにご応募いただきました皆様に感謝申し上げます。

ホームページで約 2 週間、投票を行い、60 票のご参加を頂きました。

「夏と建物」という、ちょっとひねったテーマでしたが、様々な視点でのお写真は楽しいものでしたね。

ブログでも結果発表をいたしました、改めて発表いたします。

## ☆最優秀賞☆

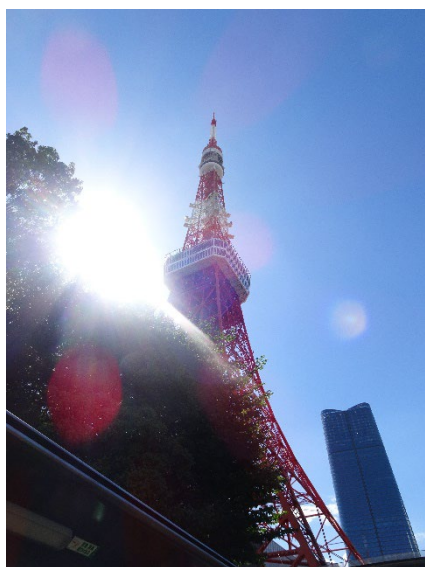


1 地区 藤田和也さん

「初夏の西湖いやしの里  
根場のしずかなたたずまい」

優勝の副賞としてあゆみ 26 号  
の表紙にさせて頂きました！

## ☆第 2 位☆



2 地区 杉山正紀さん  
「日本一高い夏」

## ☆第 3 位☆



3 地区 宮島英輔さん  
「避暑地の名建築」

## 2 年を振り返って

青年委員会  
委員長 村上裕輔

令和 4・5 年度の青年委員長を務めさせていただいての感想ですが、昨年までコロナ禍でいろいろな事業が中止していましたが、ようやく日常を取り戻しつつある2年かと思えました。その中で新規事業として、日本建築専門学校の学園祭への参加・4年ぶりのキャッチ THE マス開催などできたことは大変良い経験となりました。

前年度にイベントなど行えなかったため、いろいろと分からないことがありましたが、企画・準備・当日など青年委員と会のみなさまのご協力もありなんとか無事に務め上げることができたかと思えます。

青年委員長は今年で終わりになりますが、これからも頑張っていきたいと思えます。



日本建築専門学校の学園祭



キャッチ THE マス



### 青年委員会活動の思い出

令和 4 年度は COVID-19 の影響も色濃く、自粛やソーシャルディスタンスの雰囲気もあり活動も控えめでした。

令和 5 年度になり、流行り病を徐々に乗り越え、日常が戻りつつある中、青年委員会も“日本建築専門学校の学園祭へ参加”や 4 年ぶりとなる“キャッチ THE マス”を開催することが出来ました。

委員の人手不足という懸念もありましたが、たくさんの方に協力いただき、なんとか活動してこれたのかと思います。ありがとうございました。





### 【まちづくり見学会】

2023年3月12日に日蓮正宗大石寺の三門、御影堂、大講堂、そして国指定重要文化財の五重塔の見学会を行いました。



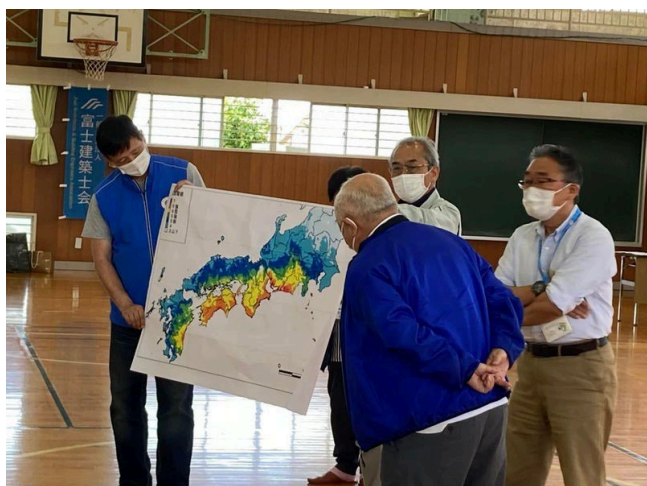
大石寺の名前は、富士山の大沢崩れを源流とする潤井川の河川敷でもあり、大きな石がゴロゴロしていた昔の地名「大石」に由来します。



←地震に強い理由がこの「心柱」です。

### 【DIGセミナー開催】

2022年5月24日 吉永第2小学校体育館に60名ほどが集まり、DIGの考案者、常葉大学の小村先生の指導の下、災害図上演習を行いました。



写真右端、いつも真剣にご講義くださる小村先生



拡大地図を広げて断層などのお話



## 2 年を振り返って

まちづくり委員会  
副委員長 川島隆裕

まちづくり委員会は、まちづくりに興味のある 10 名程度の委員で構成されております。地域貢献活動や防災教育、見学会などとおして、まちづくりの研修・研鑽を行いました。

まちづくり見学会・講演会では古い町並みを見学に行ったり、まちや建物に詳しい講師を招いて講演会を行っています。昨年は、三養荘の庭園見学と造園家による講演会を開催しました。実際に庭園を見学しながら、庭の成り立ちや作風について解説もしていただき、大変勉強になりました。

キッズジョブでは、子供たちの職業体験をとおして、建築の魅力を PR して、将来の建築士を育てる事業です。毎年ペーパークラフトにて家の模型をつくっています。悪戦苦闘しながらも、時間をかけて、自分でつくった模型は特別な宝物になります。毎年来てくれる子もいるほどの、人気な事業です。

DIG セミナーは常葉大の小村先生と富士市防災危機管理課とのコラボ事業です。地区の地図をもとに、地元住民が、グループワークをしながら、地域の強み、弱みを書いたハザードマップ作りをします。

元旦に起きた能登半島地震のこともあり、防災教育の重要性が高まっています。建築の専門家として、耐震診断・補強工事をおこない、命を守る必要性についてお話しさせてもらっています。

まちづくり委員会では、今後も、地域のニーズや課題に向き合いながら、さまざまなまちづくりに関する事業を行っていく予定です。特に少子高齢化の進む時代に、空き家問題は避けては通れないと思います。いろんな専門家と一緒に今後も考えていければと思っています。



まちづくり見学会(R5.12 三養荘庭園見学と造園家による講演会)



キッズジョブ(R5.8 未来の建築士をつくろう！ペーパークラフト体験)



DIG セミナー(R4.5 地図をつかって、地区の防災を考える)

令和5年度の TOUKAI-0 部会事業報告を致します。

R6.01.19 現在

【わが家の専門家診断事業】事業継続中  
富士市 100 件予定(150 件対応済)  
富士宮市 50 件予定(70 件対応済)

【富士宮市専門家派遣事業】事業継続中  
12 件予定(32 件対応済)

【富士宮市住宅相談支援事業】1500 件予定  
1509 件 事業終了。



## 【ふじ Bousai2023】

実施日時 令和 5 年 11 月 18 日(土)

実施場所:富士市ふじさんメッセ

この事業は、起こり得る自然災害に関する知識を学び、地震体験車や初期消火などを実践的に体験し、参加者が学んだ「知識」「体験」を各家庭や職場、自主防災会の防災対策につなげる効果的な防災・減災イベントです。本会は

- ① 震災被害パネルの展示
- ② 住宅耐震相談

を行いました。

富士市主催事業で来場者が多いので、参加協力することで、一般市民への富士建築士会活動の認知度を高めることを目的としています。





12月7日(木)に2級建築士、12月26日(火)は1級建築士の登録説明会がそれぞれ日建学院富士校で開催され、お祝いの挨拶と新規会員の勧誘をするべく出席させていただきました。

今年の製図試験の課題は、1級が「図書館」、2級が「専用住宅」(木造)、合格率は・・・

1級建築士:学科合格率 16.2% 製図合格率 33.2% 総合合格率 9.9%

2級建築士:学科合格率 35.0% 製図合格率 49.9% 総合合格率 22.3%

となっております。

今年の特徴としては、1級建築士試験合格者の職域別トップは「建設業」の32.8%、次いで「建築士事務所」の29.6%ですが、2級建築士試験合格者にとっては職域別トップが同率で「住宅メーカー・工務店・大工」の28.5%、「学生・研究生」の28.5%となっております。合格おめでとうございます！



## 新入会員紹介

鈴木 裕道

勤務先:株式会社石井組  
勤務先住所:静岡県富士市水戸島元町 4 番 10 号  
生まれた年:1994(平成 6)年  
建築士資格:1 級建築士



はじめまして。鈴木裕道と申します。

この度、1 級建築士の取得を機に富士建築士会に入会させていただくことになりました。

株式会社石井組に入社以来、施工管理の仕事をしてまいりましたが、2021 年 4 月から設計部に転属となり、それがきっかけで建築士の資格取得を目指すことになりました。

現在は設計部として現場での経験や知識を生かしながら、自社での設計施工案件に企画段階から携わり、施主への設計プレゼンや、実施図面の作成、現場監理まで一連の設計業務を行っております。

まだまだ建築士としては経験も知識も浅いので、富士建築士会の皆様との交流を通して、様々なことを学ばせていただきたいと思いますし、建築士会での活動により、少しでも地域に貢献できるよう成長していきたいです。宜しくお願いいたします。

## 新入会員紹介

武本 博徳

勤務先:(株)one design  
勤務先住所:富士市吉原 3-3-16 バルモマンション 4 階 A  
生まれた年:1981(昭和 56)年  
建築士資格:2 級建築士  
地 元:大阪府吹田市  
大 学:関西学院大学 社会学部社会学科  
趣 味:サッカー、建築、インテリアデザイン



こんにちは、武本博徳(たけもとひろのり)と申します。

約 15 年前、転勤で静岡に配属になり、その後工務店勤務を経て、富士の地で 8 年前に独立開業させていただきました。

設計監理から現場施工までさせていただいています。

これまで培ってきた経験を微力ながらですが地域貢献に役立てればという想いと、諸先輩方々からのご指導や他の建築士の方々と交流することでより向上したいと思っていた中、吉永様にご紹介いただきこの度加入させていただきました。

未熟な部分がございますが何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



↑会社 HP



↑会社公式Instagram



## 新入会員紹介

河西 雄大

勤務先: 明德建設株式会社  
勤務先住所: 富士宮市大中里 1399-14  
生まれた年: 1978(昭和 53 年)年  
建築士資格: 1 級建築士



この度富士建築士会に入会させて頂きました、河西雄大と申します。  
大学では法律を学び、卒業後に地元の会計事務所に就職し勤務しておりましたが、その間に創業者である父が起業し家業を継ぐべく 2006 年に明德建設に入社しました。  
建設業の勤務経験がなかったため、建築士資格受験に必要な実務経験を経て、2014 年に 2 級建築士の資格を取得し、2021 年に 1 級建築士の資格を取得しました。  
当社は、2024 年 4 月で創業 21 年の総合建設(土木・建築)・注文住宅並びに不動産業を営んでいる会社になります。  
入会にあたり、近年は環境問題や災害の頻発など建設業に求められる役割も増大していると実感しております。地域に根差した活動を行っている富士建築士会の皆さまとの交流を通じ資質の向上に努め、地域社会に貢献できるよう成長していきたいと考えております。ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

## 新入会員紹介

新井 沙彩

勤務先: 明德建設株式会社  
勤務先住所: 富士宮市大中里 1399-14  
生まれた年: 1997(平成9)年  
建築士資格: 2 級建築士



新井沙彩(あらいさあや)と申します。  
2018 年に明德建設へ入社し、住宅営業のみしておりましたが、2022 年に 2 級建築士を取得したことをきっかけに設計兼営業をしております。設計業務は始めたばかりですので、経験は少なく入会にあたり勉強していきながら交流を深めていけたらと思っております。  
興味を持ったものは、実行するタイプですので、幅広く色々なお話が出来たら嬉しいです。

担当氏名:伊藤 浩二

勤務先住所:静岡県富士市十兵衛 140-5

生まれた年:1988年(昭和63年)

趣 味:サッカー、ランニング、読書

資 格:宅地建物取引主任者、上級 Web 解析士



このたび、賛助会員として入会させていただいた、伊藤浩二と申します。

私は、静岡県富士市出身で、富士南中学校、富士東高校、静岡大学を経て、現在は、ホームページ作成・運用、SNS 運用、チラシ制作などの Web 制作を主業務とする株式会社富士に勤務しております。

静岡県産業振興財団の専門家として登録をしておりますので、売上拡大や Web 活用など検討されている方は、是非ご活用いただければ幸いです。

また、創業時から行っている図面のコピーやスキャニング、製本作成なども行っており、建築士の方や建設業を営んでいる企業様とも長年お付き合いをさせていただいております。

この度、富士建築士会に賛助会員として入会させていただき、まず貢献できることとして、会員様、会員企業様へ割引価格にて対応させていただきたく思います。

私自身は建築士ではございませんが、前職で不動産業に勤務していたこともあり、建築士会の目的でもある、建築士の業務の進歩改善と建築士の品位の保持、向上を図り、建築文化の進展に共感しております。またその結果として、建築主様が安心して業務を依頼できる環境作りの一助となるよう尽力したいと考えております。

とはいえ、業界のこともわからず若輩者ではございますので、先輩方よりご指導いただければ幸いです。

どうぞよろしくお願いいたします。



## 新 賛 助 会 員

ひのもと法律事務所

氏 名: 輿石 逸貴

勤務先住所: 富士市中央町1-6-10 リクラスビル3号棟202号

役 職: 代表弁護士

生まれた年: 昭和61年(紀元2646年)



はじめまして。輿石逸貴(こしいいつき)と申します。

出身は、富士市吉原です。

今後は、建築紛争を当事務所の重点取扱業務の一つとしていきたいと考えております。

富士建築士会、ひいては日本のために貢献して参る所存ですので、皆様何卒よろしくお願いいたします。

## 新 賛 助 会 員

合同会社 支良洲工業

担当氏名: 中島 拓

勤務先住所: 富士市伝法 2777-6

生まれた年: 1988(昭和 63)年

地 元: 富士市

趣 味: 海、スノーボード



皆さま、はじめまして。

富士建築士会の新入会員として入会する事が出来た事、誠に光栄です。

合同会社支良洲工業代表社員の中島拓と申します。

エアコン設計設置から厨房まで、我々はおお客様のニーズに迅速かつ確実に応えすることに自信を持っています。

技術の向上とクオリティの向上を追求し、地元企業様と協力体制を築きながら、共に発展できることを楽しみにしています。厨房と空調と言えば、富士市といえばの「地域一番」を目指して。どうぞよろしくお願いいたします。

担当氏名:大関一人  
勤務先住所:富士宮市大中里 1399-14  
生まれた年:1981(昭和 56)年

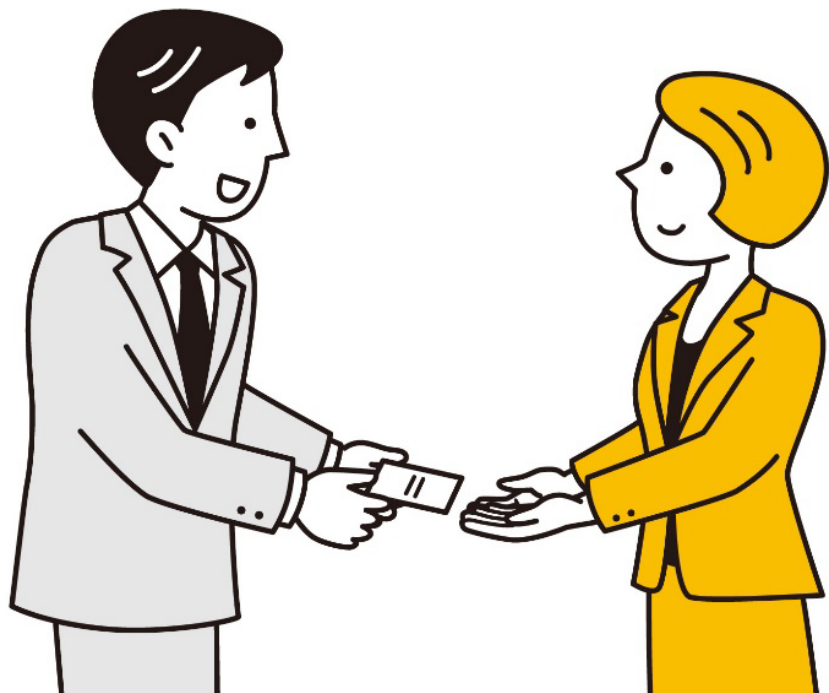


みなさま、はじめまして。  
この度富士建築士会に入会致しました、  
明德建設 大関一人(おおぜきかずと)と申します。

出身は愛知県岡崎市ですが、縁あって富士宮市に住んでおります。  
最近、住宅の購入を決意し 35 年でローンを組みましたが、78 才まで支払いが続くという恐ろしい状況になり、老後が少し心配な今日この頃です。。。。

当社、明德建設は富士宮市にありまして、昨年お陰様で創業 20 周年を迎え、これから未来に向けて益々頑張っている企業です。  
この地域には立派な建設会社さんも多く、良い所を学びながら会社と共に私自身も成長して行ければと思います。

まだまだ発展途上ですが、様々な方から刺激を頂き、つながりを大切にして、少しでも地域に貢献できるようにがんばります。





# 事務局記事（令和5年9月～令和6年1月）

1.	第1回	第一地区評議会	9月1日(金)	樹苑	18:30～
2.	第2回	T o u k a i - o 部会	9月13日(水)	事務局	17:30～
3.	第2回	第二地区評議会	9月19日(火)	旬鮮の蔵	18:30～
4.	第4回	まちづくり委員会	9月28日(木)	リモート会議	18:30～
5.	建築士	定期講習会	10月12日(木)	富士ロゼシアター 1会議室	9:00～ 17:00
6.	第6回	会員委員会	10月15日(日)	研修見学会バス・ ホテル内	7:00～ 17:00
7.	第3回	広報情報委員会	10月19日(木)	事務局	19:00～
8.	第7回	青年委員会	11月10日(金)	食事処 阿部	18:00～
9.	中間	監査会	11月13日(月)	事務局	10:00～
10.	第6回	広報情報委員会	11月14日(火)	事務局	19:00～
11.	ふじ	B o u s a i 2 0 2 3	11月18日(土)	ふじさんめっせ	10:00～ 14:00
12.	会員	研修見学会	11月25日 (土)～11月 26日(日)	小田原鎌倉横浜方面	
13.	第7回	会員委員会	11月25日(土)	打ち上げ会場	19:00～
14.	第8回	会員委員会	11月29日(水)	事務局	19:00～
15.	職業講和	(田子浦小学校)	11月30日(木)	田子浦小学校	13:10～ 15:30
16.	第3回	第三地区評議会	12月5日(火)	くいもの屋わん	18:30～
17.	第3回	第二地区評議会	12月8日(金)	旬鮮の蔵	18:30～
18.	第2回	第一地区評議会	12月11日(木)	富獄温泉 花の湯	18:30～
19.	第8回	広報情報委員会	12月12日(木)	事務局	19:00～
20.	第2回	総務会	12月14日(木)	富士ロゼシアター 第2会議室	18:30～
21.	第2回	理事会	12月14日(木)	富士ロゼシアター 第2会議室	19:30～
22.	まちづくり	研修見学会	12月16日(土)	三養荘庭園	
23.	法令・	技術講習会	1月23日(火)	富士ロゼシアター 第1会議室	13:30～
24.	新年	祝賀会	1月24日(水)	ホテルグランド富士	18:30～

## 綱領

1. われら建築士は、常に研鑽し自己の向上に努めます。
2. われら建築士は郷土のため、最良の建築を創造します。
3. われら建築士は、互いに協力し地域社会に貢献します。

## 編集後記

コロナ開けから各委員会でイベントも開催され紙面が賑やかになりました。2年間4誌あゆみを作りましたが、本当に大変な作業でした。皆さんが楽しく読んでいただけたら苦勞も報われます。よかったら感想など頂けたら幸いです。

広報情報委員会委員長 酒井朋美